

健康・安全への取り組み

「健康と安全」は企業活動の重要な基盤です。
あらゆる側面から健康と安全第一を推進しています。

健康・安全についての考え方

当社グループは企業の社会的責任の一つとして、社員やお客さまをはじめ、企業活動にかかわるすべての人が安全に働き、安全に製品を使用し、そして健康であることが重要であると考えます。

2009年度は、装置安全設計基礎講座として長岡技術科学大学大学院技術経営研究科システム安全の専門家である杉本旭教授、福田隆文准教授のお二人をお招きし、設計者向けに講義をしていただきました。実際に起きた事故事例を基に、杉本先生からは「本来あるべき姿の本質安全設計、設計者が果たすべき安全責任および安全の原理」について、また福田先生からは「最近の国際動向を踏まえた国際規格とシステム安全の考え方」などについてお話しいただき、安全に対する理解を深める有意義な講習となりました。本講習会は、今後さらに内容を充実させて実施していく方針です。



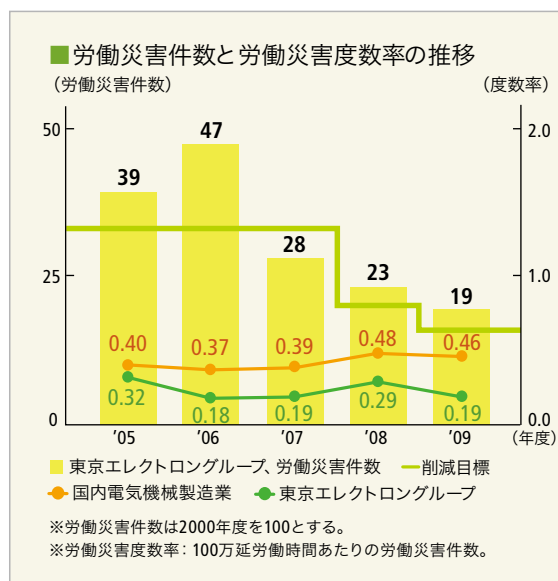
装置安全設計基礎講座

労働災害の管理

2009年度の当社グループ全体での労働災害の件数(通勤途中、応急処置を除く)は、製品の出荷量の減少もあり、2008年度と比較して約18%減少しました。しかし、目標である前年度比30%減は達成できませんでした。事故の詳細は、事故が発生した場所の約70%が当社グループ工場関連敷地内で発生しています。労働災害種別では、エルゴノミクス^{※1}、高所作業、開口部の事故などが上位にあります。なかでも2008年度より注視しているエルゴノミクスについては、引き続き最も多い件数となりました。再発防止に向けた安全対策のさらなる強化を行い早急に改善していきます。

※1 エルゴノミクス：

人間の身体的・精神的機能や性質を研究し、それに合わせた機械や環境を設計し、開発する学問や考え方。作業員の負担を軽くすると同時に、安全性・作業効率を高めることも目的とします。



TOPICS

安全体感訓練の実施

東京エレクトロンFE株式会社では、主なFE(フィールドエンジニア)サービス拠点にて安全体感訓練を実施しています。2010年4月に府中事業所よりスタートし、5月からは日本全国のフィールドサービス拠点のエンジニアを対象に実技教育訓練を推進しています。危険を疑似体験することにより安全作業の重要性を会得させ、事故削減を進めることを目的としています。さらに府中事業所では設備を常設し、各拠点での訓練時に使用する移動可能な簡易ツールの開発やトレーナーの派遣を行うなど計画的に取り組んでいます。本訓練の内容は、高所作業時の安全帯着用や、宙吊り時の身体の負荷の体感、感電体感など、様々なカテゴリーで構成されています。



安全体感訓練



東京エレクトロンの安全教育

当社グループでは、2000年7月よりグループ全体でコンセプトを共有し、安全教育を進めています。当社グループで働くすべての人を対象に、独自で作成したテキストを利用して基礎安全教育を行っています。クリーンルーム内での技術作業を行う作業員には、上級安全教育を実施しています。この教育では、社団法人日本半導体製造装置協会(SEAJ)にて作成された「SEAJ推奨サービス安全教育」のテキストを利用してしています。そのテキストの項目に従って、初回は実習を含んだものとしています。

2009年度の更新教育は、危険エネルギーの制御(ロックアウト・タグアウト※2の実施の重要性)、頭部や手足を守る保護具の有効利用、カッターの取り扱いなど手工具や電動工具に対するリスク、お客様工場での無人搬送台車のリスクなどをテーマに構成しました。この更新教育はWebサイトを利用して学習ができるため、個人の業務都合に応じて時間を問わず履修することができます。また、履修状況をWebサイトで管理し、教育対象者の履修が完了するまでフォローしています。



Webサイトを利用した更新教育

※2 ロックアウト・タグアウト：
偶発的にスイッチなどが入ることによる事故を防止するために、鍵などによって作動を不能にすること(ロックアウト)と遮断装置の操作を禁止することを札などによって明示すること(タグアウト)。

映像を用いた教育

当社グループでは、装置の大型化によるユニット重量の増加や、作業スペースの減少などの要因からなるエルゴノミクス事故防止のために、ビデオを製作し安全教育に用いています。これは、装置の設置やメンテナンス時に行われる作業が自然な体勢でできるように、また人間工学的な観点から見て、作業員の快適性、安全性、品質向上を理解することを目的としています。ここ数年、エルゴノミクス事故の占める割合が多いため、このビデオ教育を通じエルゴノミクスのリスクを低く抑え、人にやさしい安全な装置を考えることの重要性を再認識し安全性の確保に努めています。

また、高所作業や重量物取り扱い作業、フロアータイル開口部、電気取り扱い作業などのなかで、実際に発生した事故の再発防止を目的に、事故の事例を3D映像で再現したビデオを作成しています。事故当時の管理体制、当事者の作業に対する負荷状況、コミュニケーションはとれていたかなどをチェックし、安全教育の一つとして活用しています。



エルゴノミクス事故防止ビデオ



3D映像を用いた事故再現ビデオ

TOPICS

CPRとAED講習

CPR(心肺蘇生法)とAED(自動体外式除細動器)は、突然の心臓発作や水難事故、感電事故などの人命救助に有効な手段です。当社グループでは社員に対し専門機関によるCPRとAEDのトレーニング受講を継続的に実施しています。講習会終了後のアンケートでは、「緊急の際、多くの方がCPRとAEDを使えば助かる命も多くなる」「家族などが事故に遭遇した際にも助け合える」といった感想が寄せられました。



新入社員のCPR・AED講習